

【取材のご案内】

新型コロナウイルス水際対策の外国人観光客の入国規制緩和に伴い **本学国際学部生が京都駅周辺で 外国人観光客への英語アンケート調査を実施！**

大谷大学（所在：京都市北区 学長：一楽 真）は、2022年6月24日（金）に本学国際学部生による『外国人観光客に向けた英語アンケート調査』を実施しました。当日は本学国際学部生17名が京都駅周辺で外国人観光客に向けて、英語でのアンケート調査を実施。コミュニケーションがとれやすいように、A3用紙に質問内容や画を描いて、おもに日本の伝統文化についての意識調査（日本の食文化や温泉の入り方、けん玉・福笑いなどの文化体験など）を行い、新型コロナウイルス水際対策の外国人観光客の入国規制緩和に伴う時期を背景に実施しました。

今回の取り組みは、国際学部 国際文化学科のゼミ授業の一環で、国際学部 国際文化学科の Ryan W. Smithers ライアン スミザーズ 准教授が担当し、グローバルな視点から国際コミュニケーションを身につける本学国際学部ならではの取り組みとなります。当日のアンケート結果は今後の授業内で本学生が発表を行い、京都の外国人観光客が増加する後期時期にも同様のアンケート調査を行っていく予定です。



大谷大学について

大谷大学は、1665（寛文5）年の江戸時代、京都・東六条に創設された東本願寺の学寮をその前身としています。その後、いくたびかの変遷を経て、1901（明治34）年、近代的な大学として東京・巣鴨の地に開学。1913（大正2）年、現在の地に移転開設しました。

親鸞の仏教精神に基づき、“人材”ではなく“人物”の育成を目標とする学び「人間学」を教育・研究の根幹とし、広く一般社会へ開かれた大学として発展を続けています。

2021（令和3）年には、近代化120周年を迎えました。

<本件に関するお問合せ先>

企画・入試部 入学センター 後藤・三池

TEL 075-411-8114 / FAX 075-411-8160 / E-mail nyushi-c@sec.otani.ac.jp

〒603-8143 京都市北区小山上総町